

新人軟式野球競技大会要項

- 1 大会名 第63回筑紫区新人軟式野球競技大会
- 2 期 日 令和4年10月1日(土) 大会1日目
第1試合 ① 9:00～ 第2試合 ② 11:00～
令和4年10月2日(日) 大会2日目
第1試合 ③ 9:00～ 第2試合 ④ 11:00～ 第3試合 ⑤ 13:40～
令和4年10月8日(土) 大会3日目 準決勝・決勝・3位決定戦
第1試合 ⑥ 9:00～(準決勝) 第2試合 ⑦ 12:00～(決勝・3位決定戦)
令和4年10月9日(日) 予備日
- 3 会 場 10月1日(トーナメント1回戦) ※()内はAEDの管理場所
大佐野運動公園野球場(管理棟) 北谷運動公園野球場(管理棟)
西畑運動公園野球場(大会本部) 太宰府東中学校(大会本部)
10月2日
春日野中学校(大会本部) 大野東中学校(大会本部)
西畑運動公園野球場(大会本部) 太宰府東中学校
10月8日(決勝トーナメント)
【準決勝、決勝戦】西畑運動公園野球場
【準決勝、3位決定戦】大佐野運動公園野球場
10月9日(予備日)
西畑運動公園野球場・太宰府東中学校・春日野中学校
10月15日(予備日)
太宰府東中学校・春日野中学校
- 4 参加校 二日市中学校・筑山中学校・筑紫野中学校・天拝中学校・筑紫野南中学校
学業院中学校・太宰府中学校・太宰府西中学校・太宰府東中学校・筑陽学園中学校
大野中学校・大野東中学校・大利中学校・平野中学校・御陵中学校・春日中学校
春日東中学校・春日西中学校・春日南中学校・春日野中学校・春日北中学校
那珂川中学校・那珂川南中学校・那珂川北中学校 計24校
- 5 参加資格 筑紫区中学校体育連盟規約「大会出場資格」による
- 6 競技方法 トーナメント方式により、代表4校を決定する。
※筑前大会の出場権を得る。
- 7 競技規則 (1) 2022年度全日本軟式野球連盟規則および大会特別申し合わせ事項に準じる。
※投手の投球制限については、大会中の投球数を「1日100球まで」とする。
試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
(2) 引率、監督は出場校の校長・教頭・教員とする。コーチについては出場校の教育職員であってもかまわない。ただし、校長・教頭・教員・教育職員以外のコーチは校長が認め、筑前地区中体連に登録し、承認を受けたものとする。
(3) 用具 ①公認(検定M号)球を使用する。(ナガセケンコーを使用する。)
②用具は軟式公認(JSBB)のものを使用する。
- 8 申し合わせ事項 (1) 試合回数・時間 全試合7イニング制、勝敗が決するまで試合を行う。5回以降7点差以上の差があるときは、コールドゲームとする。7回を終えて同点の場合は延長戦には入らず、特別延長戦を行う。特別延長戦は、最終イニングの継続打順で始まり、打席に入る打者の1つ前の打者を1塁、2つ前の打者を2塁、ノーアウト1・2塁から攻撃を開始する。後攻側も同じ条件で攻撃を行い、その回の得点の多い方を勝者とする。なお、同点の場合は、次回に継続打順で行う。特別延長は勝敗が決するまで行う。
(2) 準決勝組み合わせ 準決勝に進出したチームは、チームの代表者の抽選により対戦相手を決める。
(3) 練習 フィールドインギングは試合開始20分前から行い、各チーム7分間(ボールが動き出して計時)とし、後攻側から行う。ただし、大会運営上支障をきたす場合においては、その限りではない。(サイドノックに切り替えることもある)。球場内でのフリー打撃は禁止する。
(4) 用具 ①バットリング、リストバンドは禁止する。手袋は白と黒のみ使用しても構わない。またマスコットバットの使用も認める。
②キャッチャー(投球練習時の控え捕手も含む)は、ヘルメット、レガース、プロテクターを着用すること。
(5) ユニフォーム 選手は全て同一ユニフォームを着用する。監督、コーチも選手と同一のユニフォームを着用する。
(監督は30番を着用する。)

- (6) 整備 グランド整備は会場にいる学校で分担して行う。最終試合校がベンチ清掃を行う。
- (7) 抗議 問題が生じた場合は主将、当事者のみ抗議を認める。また、質問については監督のみ許可する。
- (8) ベースコーチ 出場チームの選手に限る。※ヘルメットを着用すること。
- (9) 退場 中学生らしからぬ行為をしたものには、退場を命じることがある。なお、頭髮違反、眉そり等については専門部会の取り決め通りとする。
- (10) 野次 野次は厳に慎むこと。また、ボークを誘発するプレーは禁止し、相手に不利になるような声かけをしない。
- (11) ボーク 審判員の判断に委ねる。
- (12) 休憩 大会タイムスケジュールに準じて試合を進行する。連続して試合を行う場合は休憩時間を設ける。
- (13) 筑紫区中学校体育連盟および野球専門部の「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」を遵守する。

9 表彰 第3位までを表彰する。(準決勝・決勝・3位決定戦後に表彰を行う)

10 専門部長 園田晋也 (太宰府東中学校 TEL092-921-3231 FAX092-921-3252)

11 審判員 全日本軟式野球連盟筑紫支部

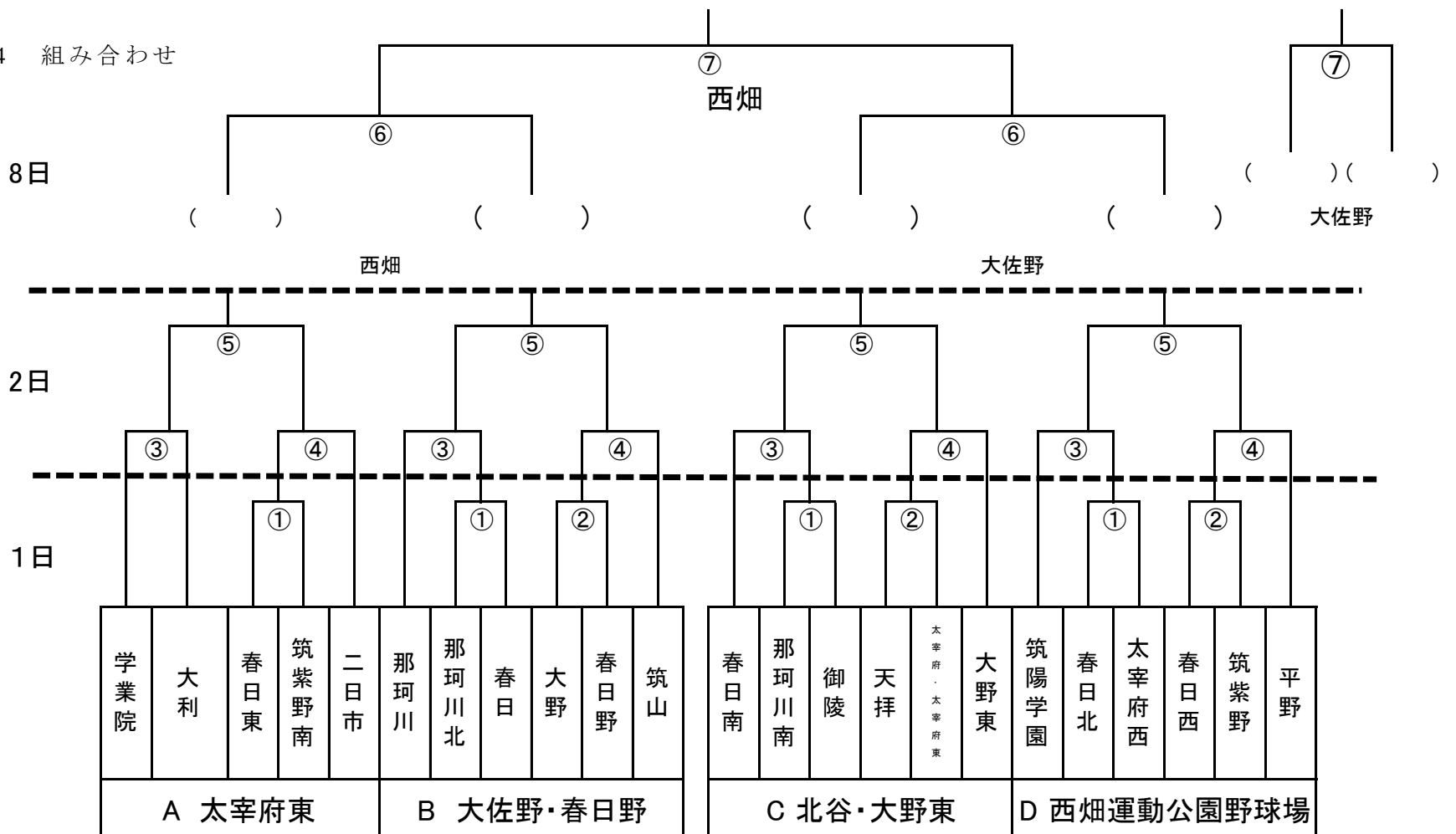
12 競技委員

筑紫野市	境和之、白石哲也、林田臣矢 (二日市) 川原健右、弓削智哉 (筑山)
	千葉宝正、大島寛昭 (筑紫野) 奥園竜之、田島光 (天拝)
	荒木竜大、金子禎 (筑紫野南)
太宰府市	梶原久嗣、本田実、坂口遙平、神野勇二 (学業院)
	黒崎健慈、小林俊雄 (太宰府)
	園田晋也、松永哲也 (太宰府東) 山本秀明、本田光 (太宰府西)
	松山昌哉、竹上陽徳 (筑陽学園)
大野城市	浅倉優太郎、田中康彦、弥永英一 (大野東)
	野中愛美、緒方一也、本田安希登 (大野) 増元孝浩、渡邊智朗 (大利)
	荻原祐介、坂口具史 (平野) 山田冬樹、古川裕士 (御陵)
春日市	大家翔太郎、宮崎照啓 (春日) 西原大祐、白水利幸 (春日東)
	堀口大志、竹田晃久、鬼塚誠 (春日西)
	進藤文也、伊藤純輝、光武友香 (春日南) 永野猛人、淵上佳昭 (春日北)
	古賀佑亮、中森文博 (春日野)
那珂川市	永井裕太、玉井正昭、原田翔平 (那珂川) 内田惇史、山下創 (那珂川南)
	古澤裕二、大竹野拓実、佐藤茂史 (那珂川北) 栗田隆二 (後野分校)

13 競技役員

専門部長	園田晋也 (太宰府東)		
副専門部長	金子禎 (筑紫野南)	増元孝浩 (大利)	
春日市	進藤文也 (春日南)	筑紫野市	川原健右 (筑山)
那珂川市	原田翔平 (那珂川)	太宰府市	本田光 (太宰府西)
大野城市	本田安希登 (大野)		

14 組み合わせ



新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応について（軟式野球専門部）

（１）健康のチェック・参加資格等について

- ・当日参加するすべての選手（登録外の選手を含む）の検温・健康チェックを行い、チーム毎に体調確認表の提出を義務づける。
- ・体調不良（発熱や咳などの症状）の場合は、参加を認めない。
- ・筑紫区中学校体育連盟から出された感染拡大防止ガイドラインを確認・遵守し、マスクの着用、手洗いの徹底など、各自でも感染予防対策を徹底すること。
- ・全選手に事前に参加同意書の提出を義務づける。参加同意書のない場合は、参加を認めない。（事前に各チームで回収し、学校で保管すること）
 - ・大会１週間前から選手・監督・顧問・引率者・外部指導者の大会期間中の体調記録表を記録し、学校ごとに保管すること。また、外部審判員の体調記録表は専門部で保管する。
- ・応援者等には、当日体調確認一覧表の提出を義務づけ、体調に異変がある場合は、来場を控えること。

（２）選手について

- ・試合前の円陣になっての声出しはしないこと。
- ・試合会場では随時、手洗い・消毒をすること。
- ・試合中、応援歌を歌うなどの応援はしないこと。
- ・ハイタッチや握手など身体の接触がないようにすること。
- ・試合がないときは、熱中症予防に留意しながら、マスクを着用すること。
- ・試合会場での食事は密にならないように食事中的会話はしないよう留意すること。
- ・湯茶の準備については各自で行い、コップ等を共有しないようにすること。
- ・試合前後の号令は集合を避け、密にならないようにすること。
- ・試合前のトスで握手はせずにソーシャルディスタンスをとって行う。
 - ・食事をする際には、間隔をとって行うようにし、黙食とする。手洗いや消毒などを感染対策を十分講じて行うようにすること。

（３）大会運営について

- ・選手の使うダッグアウト（ベンチ）やトイレは適宜アルコール消毒を行う。
- ・大会の運営については、会場ごとに分担して行うが、会場で選手が密にならないように配慮する。